令和６年度　東京都立農産高等学校　定時制課程　学校経営報告

東京都立農産高等学校長
平柳　伸幸

１　学習指導の充実（授業力の向上）

【目標】教員一人一人が授業改善の目標を立て、授業力向上に取り組む。

【方策】①授業規律を徹底する。
②全教員が授業評価を実施し、授業改善を進める。
③全教員が統合型校務支援システム、Microsoft teams の活用を推進する。
④全教員が一人１台端末の利活用を推進し、実践的な授業を行う。
⑤授業研究を計画的に実施し、その成果を研究紀要にまとめる。

【成果】・研究授業及び研究協議を計画的に実施することにより、教職員の授業力が向上した。

【課題】・計画的に研究授業を実施したが、その成果を研究紀要としてまとめることができなかった。

２　生活指導の充実（安全教育・健康教育の推進）

【目標】安全教育を充実させ、安全・安心な学校生活を送ることができるようにする。

【方策】①非行や誘惑に巻き込まれない自己管理（危険回避）を指導する。
②実践的な災害対応を目的とした防災訓練を行う。
③日常的な交通安全教育を実施する。
④警察署や消防署などの関係機関と連携した安全教育に取り組む。
⑤「TOKYO ACTIVE PLAN for students」を踏まえた体力向上及び健康の保持増進への取組（東京都統一体力テスト、スポーツへの関心を高める取組等）を実施する。

【成果】・地域や自治体、消防署と連携した防災訓練を計画的に実施することができた。
・体力向上及び健康の保持増進への取組を推進することができた。

【課題】・７月以降、自転車乗車用ヘルメットの着用率が低下してしまった。

３　進路指導の充実（個に応じた進路指導の推進）

【目標】個に応じた進路指導を通して、生徒の第一希望の進路実現を図る。

【方策】①上級学校、企業訪問等、情報収集を徹底して行い、進路先が求める生徒像等の理解を深める。
②ハローワークとの連携を強化し、就職指導をより一層充実させる。
③奨学金について、適切に情報提供を行う。
④就職した卒業生の状況を把握し、早期離職の防止に努める。
⑤進路指導の情報を保護者にも確実に周知する。

【成果】・「専門高校における民間 OB 等活用事業指定校」として、地域産業界の OB や農業関連企業等を活用したキャリア教育を推進することができた。

【課題】・長期休業期間中におけるインターシップを実施することができなかった。次年度以降は関係機関と連携を図り、地元企業でのインターンシップを企画するとともに、参加生徒を中心に生徒の進路実現に向けた取組の充実を図る。

４　特別活動の充実

【目標】学校農業クラブ活動、学校行事、ホームルーム活動、部活動等の特別活動を充実して、生徒の自主性を高め、自律的な活動の活性化を図る。

【方策】①ホームルームは、年間指導計画に基づき計画的、系統的に取り組む。
②学校行事や生徒会活動等を通して、生徒の自主的な活動の活性化に取り組む。
③活動に必要な予算や指導者を確保し、部活動を支援する。
④特別活動全体を通して、コミュニケーション能力の向上を図る取組を推進する。

【成果】・１０月に開催された「第 22 回日比谷公園ガーデニングショー」への出品をはじめ、地域イベントでの生産品販売など、園芸部や創作造形部、食品製造部を中心とした活動を活性化させることができた。
【課題】・学校農業クラブ活動を中心に関連企業と連携した商品開発を行うなど、研究活動を推進させる。

５　心と身体の健康の増進

（１）生徒の心を育てる教育の推進

【目標】多様な生徒の個に応じた心を育てる教育を推進して、自己肯定感を高め、社会と前向きに関わろうとする姿勢を育む。
【方策】①教育相談機能をより一層高め、支援の必要な生徒の情報を共有し、多様な生徒への適切な支援を組織的に行っていく。
②特別な支援を必要とする生徒に対して、合理的な配慮や個に応じた適切な支援を行う。
③目標に向かって努力することの大切さを伝え、諦めずに最後までやり抜く心を育てる。
④美の追求、食の探究により、豊かな感性を育む。
【成果】・ほぼ毎日、生徒情報を共有することを通して、全教職員が共通理解の下、個に応じた指導を行うために必要な情報を共有することができた。
【課題】・中途退学の未然防止に向けた教職員の意識改革をさらに推進していく必要がある。

（２）食育の推進

【目標】給食を通して、健康な生活、健康な身体を作るための基盤を身に付けさせる。
【方策】①授業や特別活動において、食と健康について考えさせる指導を行う。
②生産品使用、地産地消、季節感のある給食等により、食と文化の結び付きを考えさせる。
③喫食者を増やし、給食による食育指導を進める。
【成果】・給食費の無償化等により生徒の喫食者を増やすことができた。
【課題】・今年度は、本校で生産した野菜等を給食の食材として提供することができなかった。

６　学校経営

（１）地域連携、地域貢献活動の推進

【目標】本校の特性を生かした活動を推進し、地域に根ざした学校づくりを進める。
【方策】①日常の学習活動を活かした地域貢献活動や地域貢献活動を通した探究活動を行う。
②「人間と社会」や農業科目等において、自治体や地域の団体と連携した活動に取り組む。
③葛飾区との地域連携を推進する。
【成果】・今年度においても本校の特色を活かした地域連携、地域貢献活動を通して、生徒の主体性や探究心、学習意欲の向上を図ることができた。
・近隣中学校との連携事業の一環として、部活動交流を推進することができた。
【課題】・地域貢献活動にボランティアとして参加する生徒が固定化傾向にある。

（２）服務事故の防止

【目標】法令順守を徹底し、服務事故を起こさない。
【方策】①服務事故防止研修や日常的な注意喚起を確実に行う。
②体罰や不適切な指導についての啓発を定期的に行う。
③職員間の意思疎通を活発に行い、風通しの良い職場を維持する。
【成果】・服務に関する規則、私費会計、個人情報の取扱い等について、注意喚起や研修会を定期的に実施することができた。
【課題】・次年度においても服務事故の防止に向けて計画的に校内研修会を実施し、教職員の法令順守の意識を高めていく必要がある。